

I. 調査要領

1. 調査時点及び調査対象期間

(1)調査時点 平成 27 年 10 月 1 日

(2)調査対象期間 平成 27 年 7 月～9 月期の実績および平成 27 年 10 月～12 月期の見通しについて調査した。

2. 調査対象

当所会員企業を対象に、商業+食品業部会、水産業部会、機械工業部会、建設業部会、観光・サービス・諸業部会より各 30 社、計 150 社を抽出し郵送により調査した。

3. 回収状況

	対象企業数	回答企業数	回 答 率
商業+食品業部会	30 社	19 社	63.3%
水産業部会	30 社	18 社	60.0%
機械工業部会	30 社	17 社	56.7%
建設業部会	30 社	18 社	60.0%
観光・サービス業+諸業部会	30 社	19 社	63.3%
合 計	150 社	91 件	60.7%

注) 本調査結果の中で、「D・I」値とある記号は、ディフュージョン・インデックス（景気動向指数）の略で、各調査項目についての増加（好転・上昇）企業割合から減少（悪化・低下）企業割合を差し引いた値（景気動向指数）を示す。

Ⅱ. 概 況

－業況は回復した前期から退転、次期もさらに悪化の見込み－

1. 全体の動き(業況)

四半期毎に実施している中小企業景況調査の**今期(平成27年7月～9月)の全業種平均DI値**(「好転」と答えた企業と「悪化」と答えた企業の割合の差)は、**前年同期比▲16.5**と前回調査時の▲7.5より**9ポイント悪化**しました。売上状況、採算の推移についても業況と同様のグラフを描いており、大規模な公共事業、円高等の影響により好調だった平成25年度第3四半期をピークに悪化の傾向となっておりますが、調査を開始した平成16年から変動はあるものの緩やかに回復している状況となっております。金融緩和の影響もあり、金融機関の貸出傾向は4.9ポイントと全体を通してみると「緩い」との回答でしたが、唯一水産業界だけが「厳しい」という結果となっております。

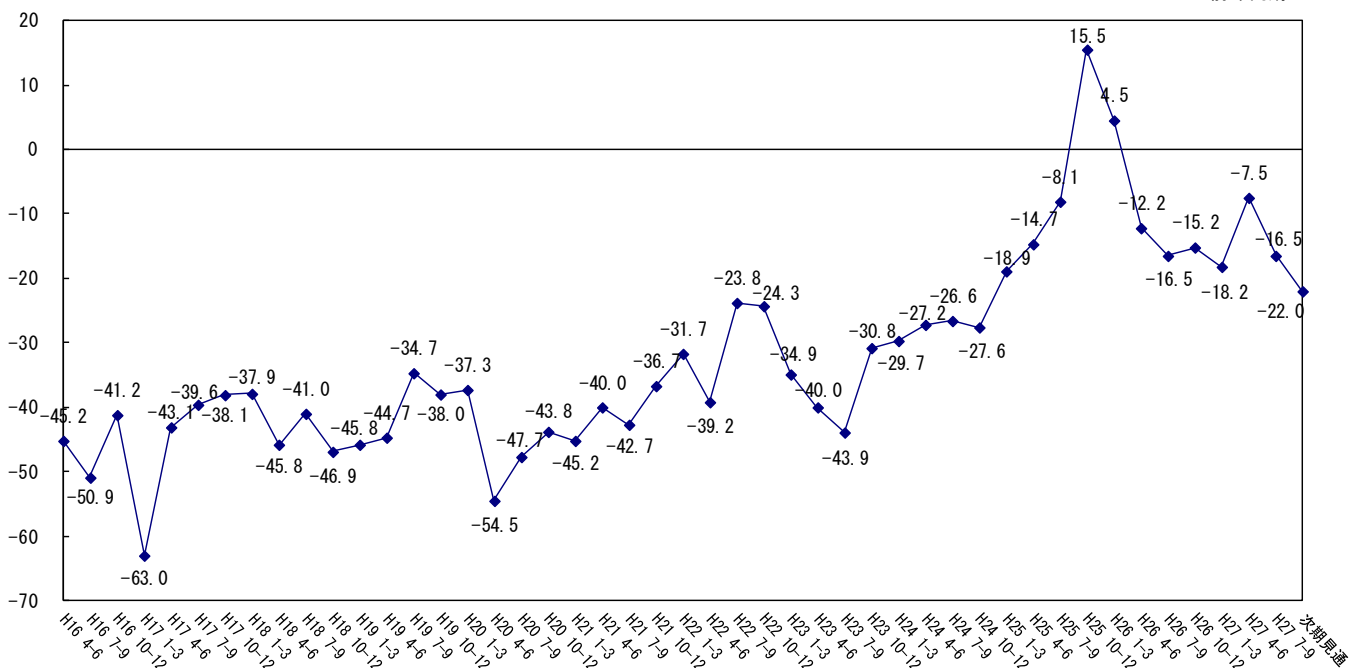
部会別で前年同期比ベースをみると、商業食品業[前年DI値▲28.6→今期10.5]、水産業界[前年DI値▲27.8→今期▲50.0]、機械工業[前年DI値▲20.0→今期▲11.8]、建設業[前年DI値17.6→今期▲22.2]、観光サービス業・諸業[前年DI値▲21.4→今期▲10.5]となりました。全業種で悪化と厳しい状況の中、唯一商業食品業が前期からの好調を保ち、「仕入れ単価の上昇」訴える声が多かったものの、前年同期比よりも39.1ポイントと大幅に回復しました。もんべつ地域活性化商品券も9月末時点まででおおよそ9割の換金率となっており、地元での消費が活発になったものと思われます。水産業界は、依然として「原材料の不足」と「原料価格の高騰」による業況悪化を示しています。建設業も「官公需の停滞」や「材料単価の上昇」が影響し、昨年の好転から39.8ポイントもの大きな悪化となりました。建築申請は例年よりやや少なく推移している事に加え、公共事業の減少が大きく影響しているものとされます。

来期(平成27年10月～12月)については、今期と比べて**業況判断DIは、全業種で悪化傾向になる**との見通しが寄せられ、年末商戦を迎える商業食品業も▲15.8と2期振りにマイナス圏へ入る悪化の見通しとなっております。悪化の見通しが最も小さかったのが年末に向けて利用が予想される観光サービス業・諸業となっておりますが、年末商戦となることから、悪化幅が縮小される事を期待し、今後の動向も慎重な見方をしてきたいと思えます。

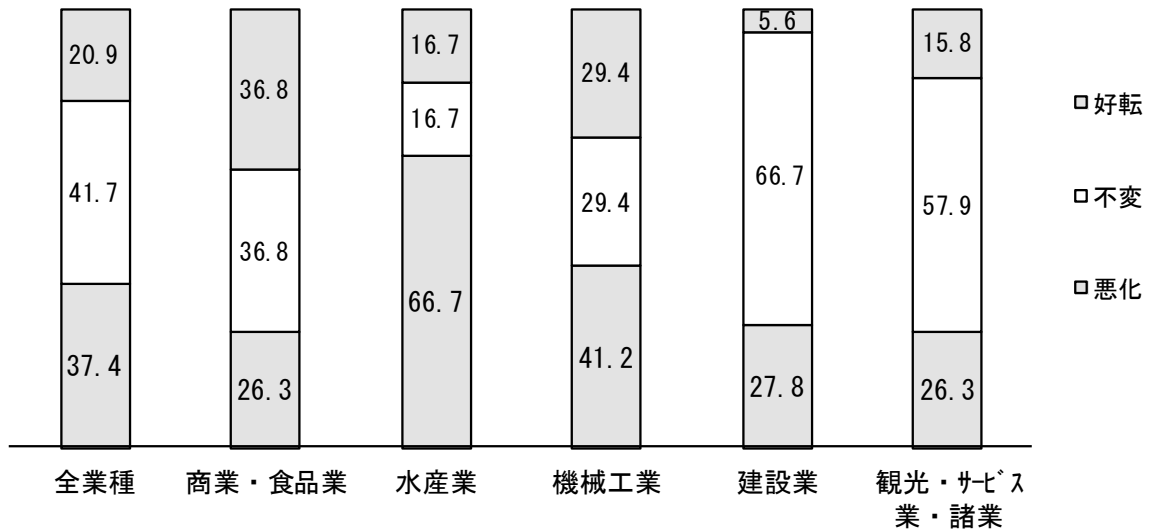
紋別商工会議所 景気動向調査(業況の推移)

(好転－悪化)

前年同期比



今期の業況（前年同期比）



■部会別の動向

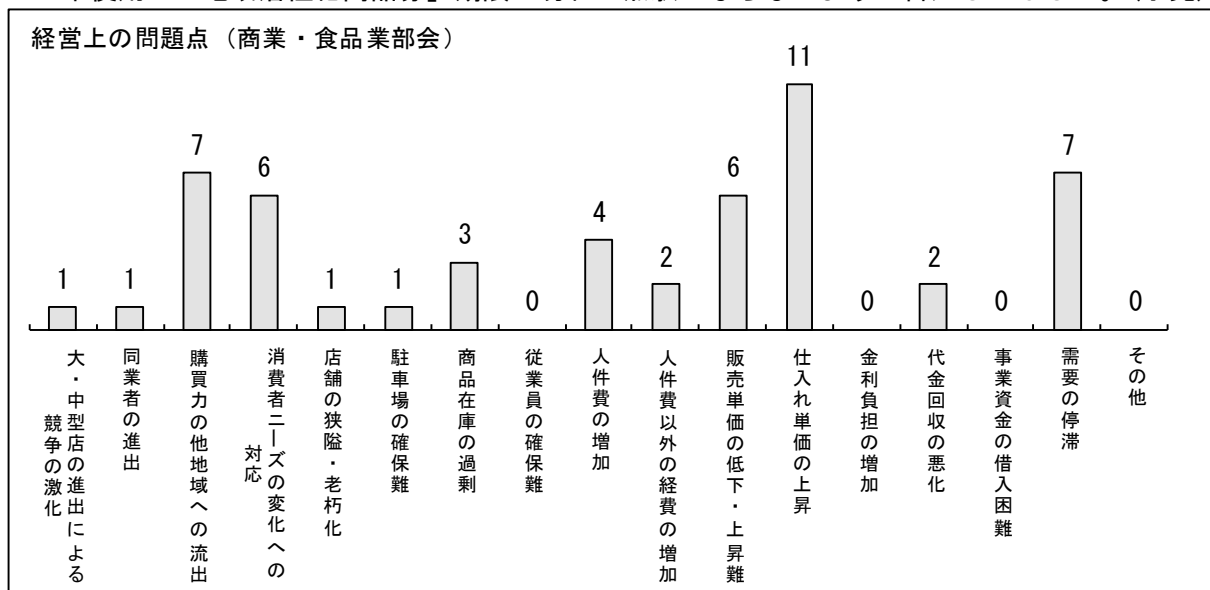
【商業・食品業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）10.5（前年DI値▲28.6、来期見通し▲15.8）〕

業況DI値（前年同期比）は、前年同期より大幅回復となりました。前回調査時23.8よりは若干落ち込みましたが、今期もプラス圏を保ち、唯一好況感が窺えました。6月から販売したもんべつ地域活性化商品券換金も順調に推移している様子からも、市内での消費が活発化しているものと思われます。来期見通しは、再び悪化する見通しになっていますが、「不変」と回答する方が半数以上を占めていることから、商品券使用終了後も年末に向けた消費への期待感も窺えます。

経営上の問題点としては「仕入れ単価の上昇」「購買力の他地域への流出」「需要の停滞」を訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・売り上げ減少で不安が大きく、良いアイデアが浮かばない。（小売）
- ・未使用の「地域活性化商品券」期限が切れて無駄にならないように告知してほしい。（小売）



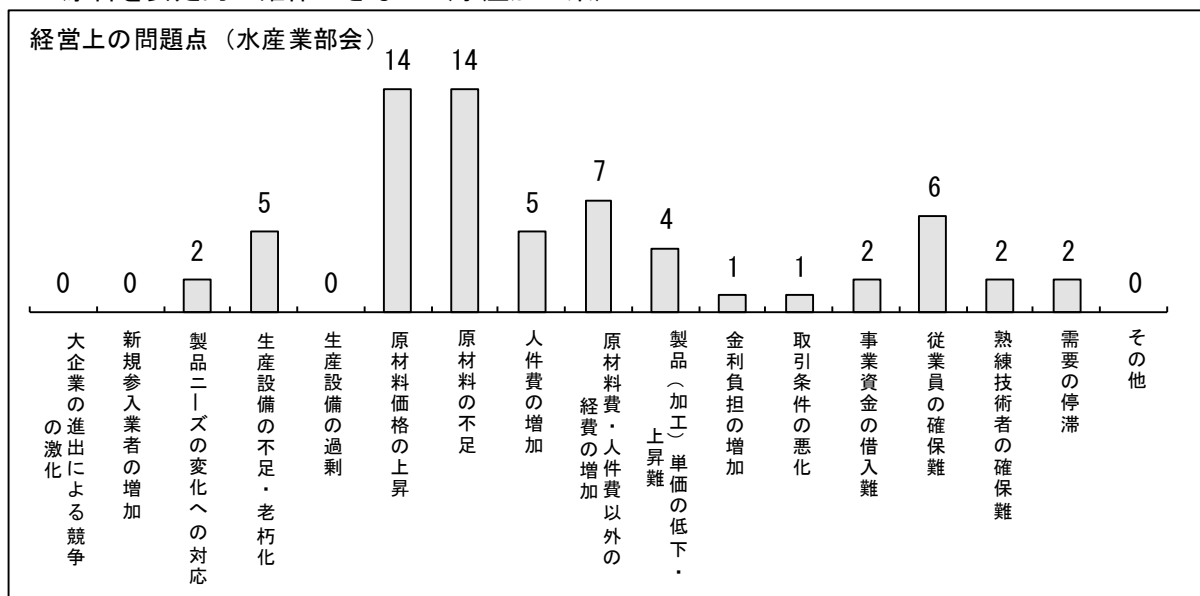
【水産部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲50.0（前年DI値▲27.8、来期見通し▲27.8）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、冬期間の低気圧による被害の影響が最盛期を迎えた今回の

調査結果に大きく反映されてきました。マス漁は前年比増、ホタテ、サケ漁の漁獲量は前年には及ばないものの順調に推移し魚価高いとの報道もありましたが、加工業者には原料の不足、原材料価格の上昇として業況に大きく影響しています。かつては日本一の輸入を誇ったカニや大衆魚と言われたホッケなどが原魚不足により価格が高騰、稼働率が低くなった工場や冷凍設備の維持経費等も有るため、在庫不足や今期の採算は▲55.6と深刻さが浮き彫りとなりました。来期の見通しは、やや回復と終漁に向けて最後の期待の数値となっております。経営上の問題点としては、「原材料価格の上昇」「原材料の不足」が突出して多くなっております。

《業界の問題点等》

・原料を安定的に確保できない（水産加工業）

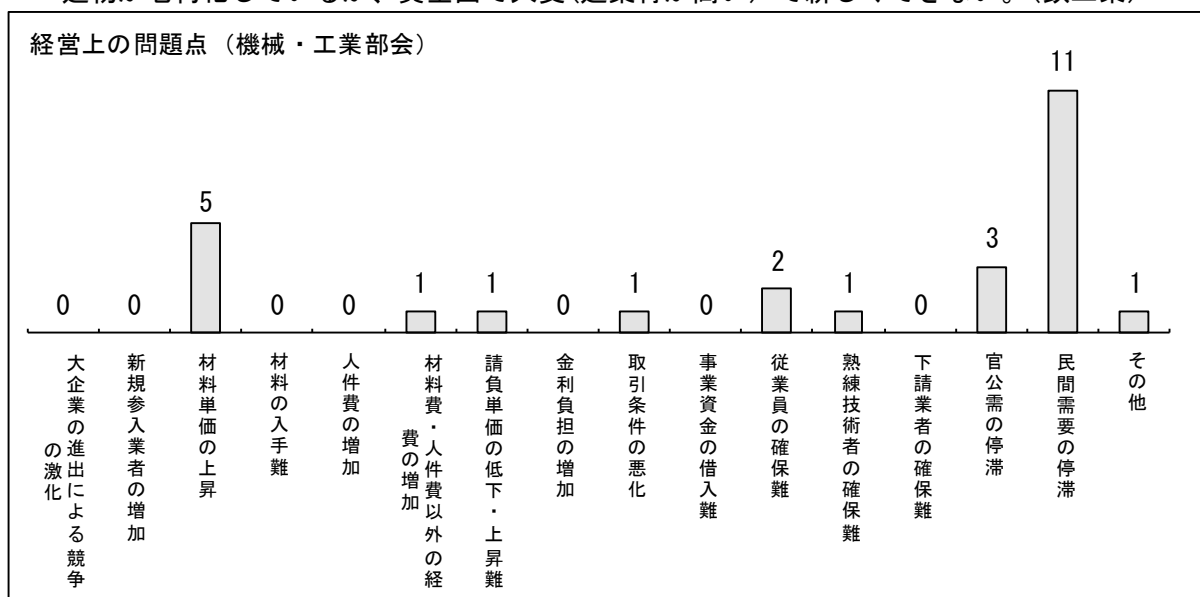


【機械・工業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲11.8（前年DI値▲20.0、来期見通し▲23.5）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、前年DI値に比べるとやや回復となっております。もんべつ地域活性化商品券の使用できる事業所については、商品券の販売を待っての商品購入や修理等をする消費者もいたという声も寄せられております。繁忙期となる林業関係や自動車整備等も輸送が活発になることから、それに付随する機械等の整備も例年同様順調に推移しているとの事です。来期の見通しについてはDI値は再び悪化する見通しです。経営上の問題点として、「民間需要の停滞」を訴える声が多く寄せられております。

《業界の問題点等》

・建物が老朽化しているが、資金面で大変（建築材が高い）で新しくできない。（鉄工業）

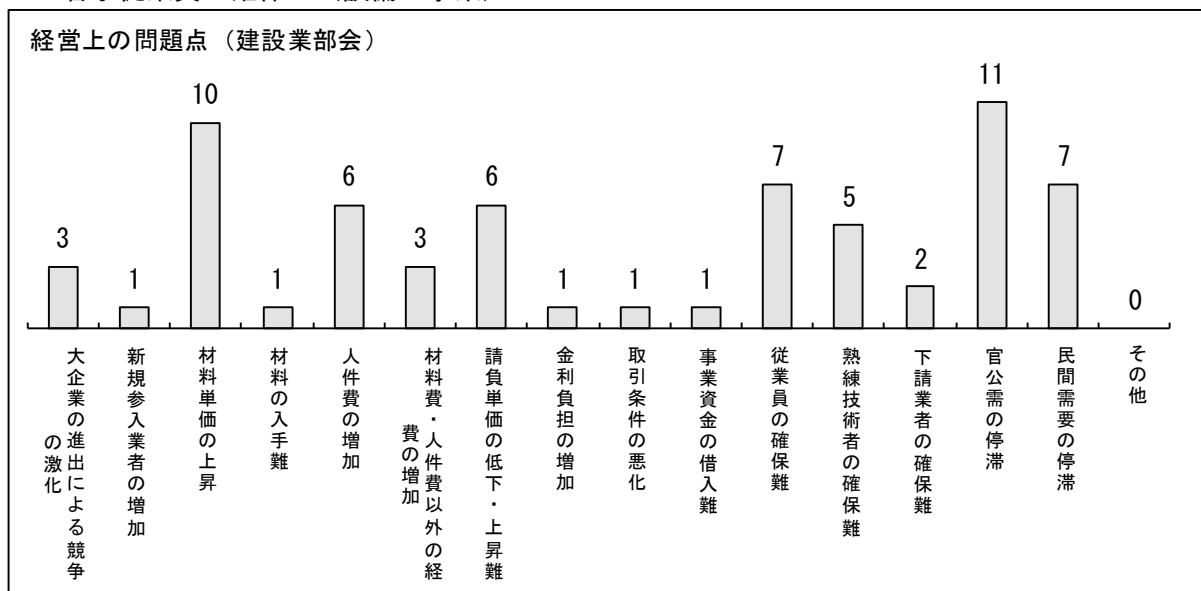


【建設業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲22.2（前年DI値17.6、来期見通し▲33.3）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、大きく悪化となっております。建築申請は例年よりもやや減少も順調に推移という報道もあったが、一般住宅の建設も一段落してきたことから、多忙であった時期を脱し、落ち着きを見せるという見通しから平成24年度第3四半期ぶりに来期はマイナスの見通しとなっております。経営上の問題点としては、「材料単価の上昇」「熟練技術者の確保難」「民間・官公需の停滞」などを訴える声が多く寄せられています。

《業界の問題点等》

- ・これから公共投資がなくなり、また倒産会社が増えると思われる。（電気工事業）
- ・若手従業員の確保！（設備工事業）



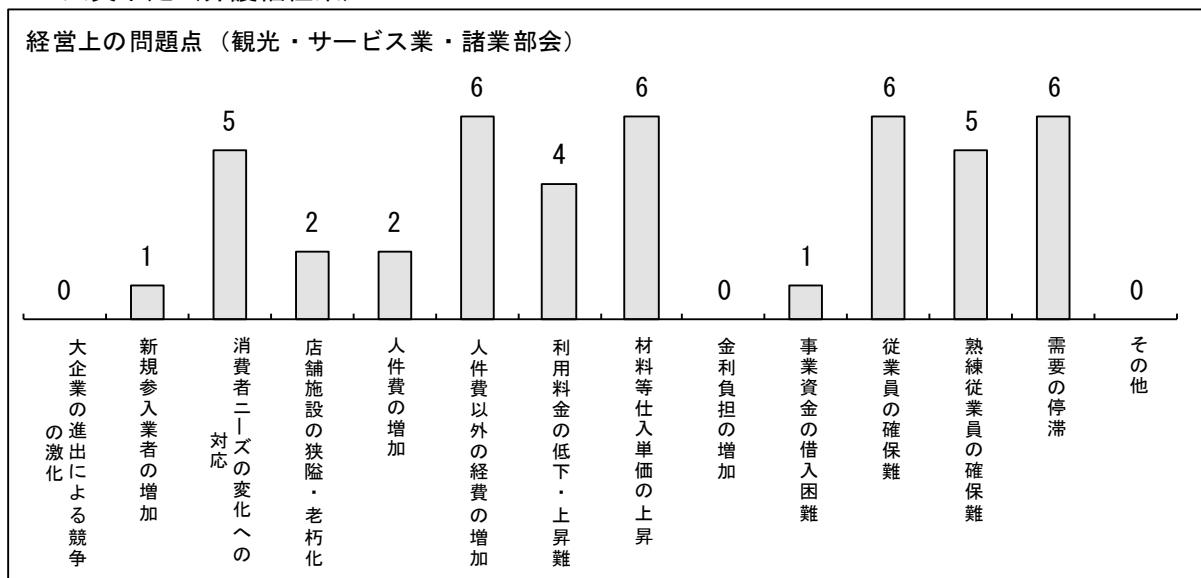
【観光サービス業・諸業部会】〔業況判断DI値（前年同期比）▲10.5（前年DI値▲21.4、来期見通し▲10.5）〕

業況判断DI値（前年同期比）は、前年DI値に比べ回復しております。イベント毎に天候が崩れ、泣かされる事の多かった昨年に比べ、天候にも恵まれ客足も例年並みに回復しました。時期の見通しは今期と同様▲10.5となっておりますが、忘年会等のイベントなど、冬のイベントもこれから活発になってくるので、悪化幅が縮小される事に期待しています。

経営上の問題点としては、「需要の停滞」「人件費以外の経費の増加」「材料仕入単価の上昇」「従業員の確保難」等という声が多く寄せられています。

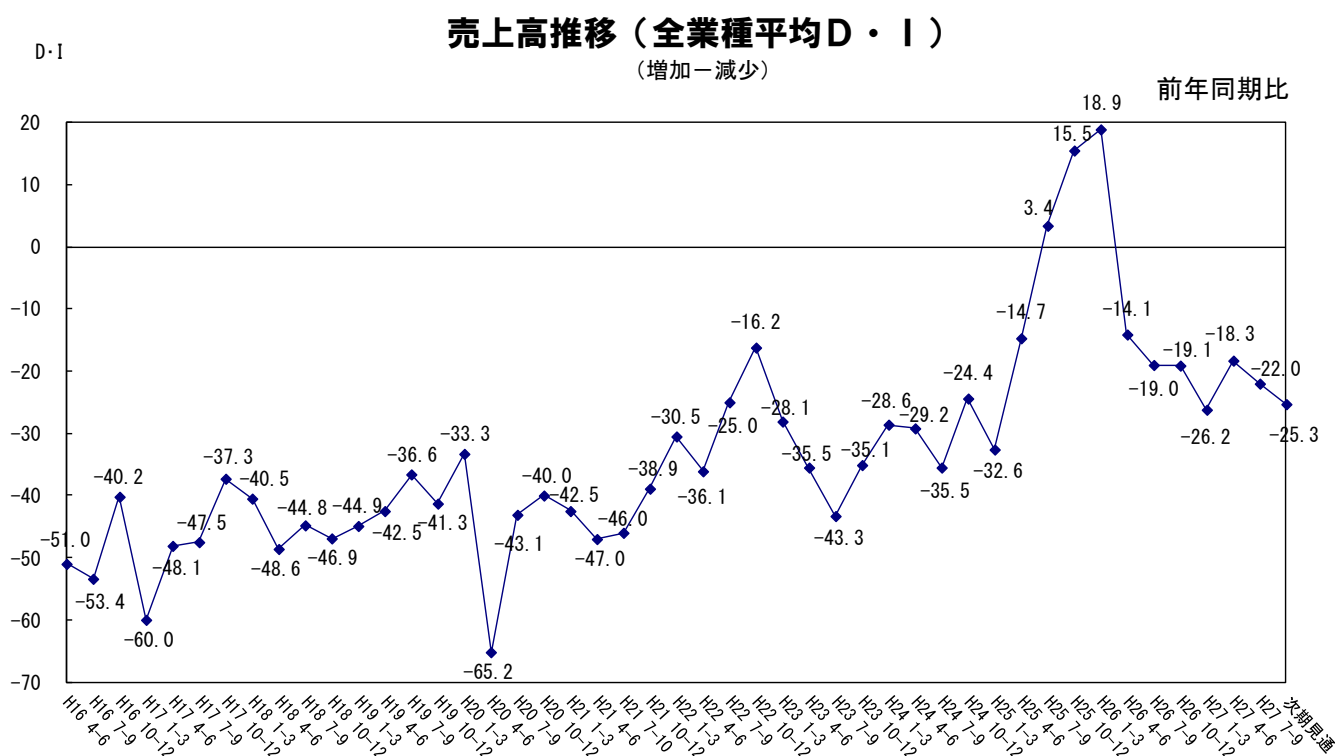
《業界の問題点等》

- ・業界として活動する組織が少ない。（飲食業）
- ・人員不足（介護福祉業）

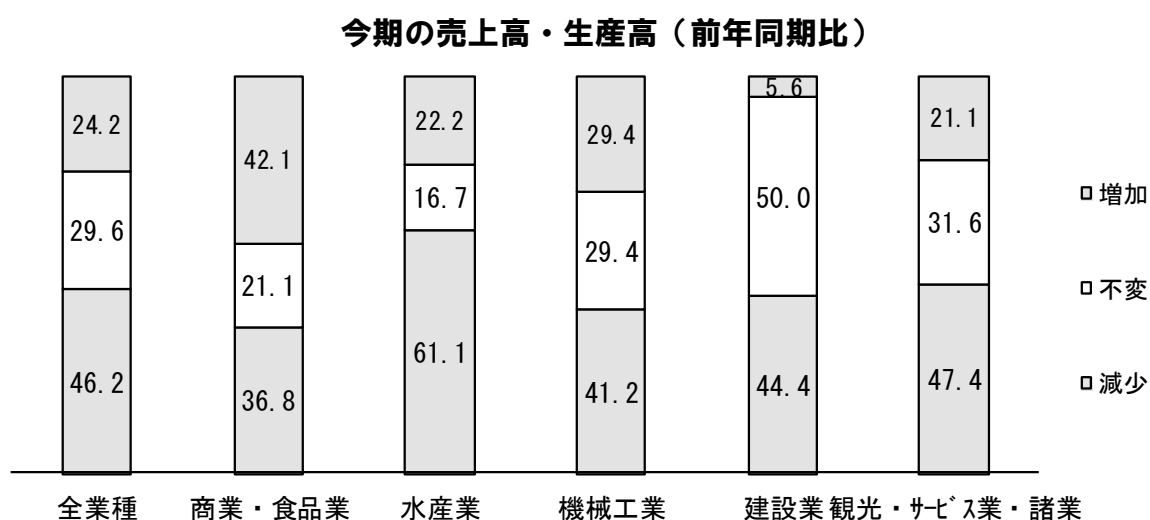


2. 今期の動向

(1) 今期の売上高・生産高



【前年同期比】（平成 26 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の売上高）



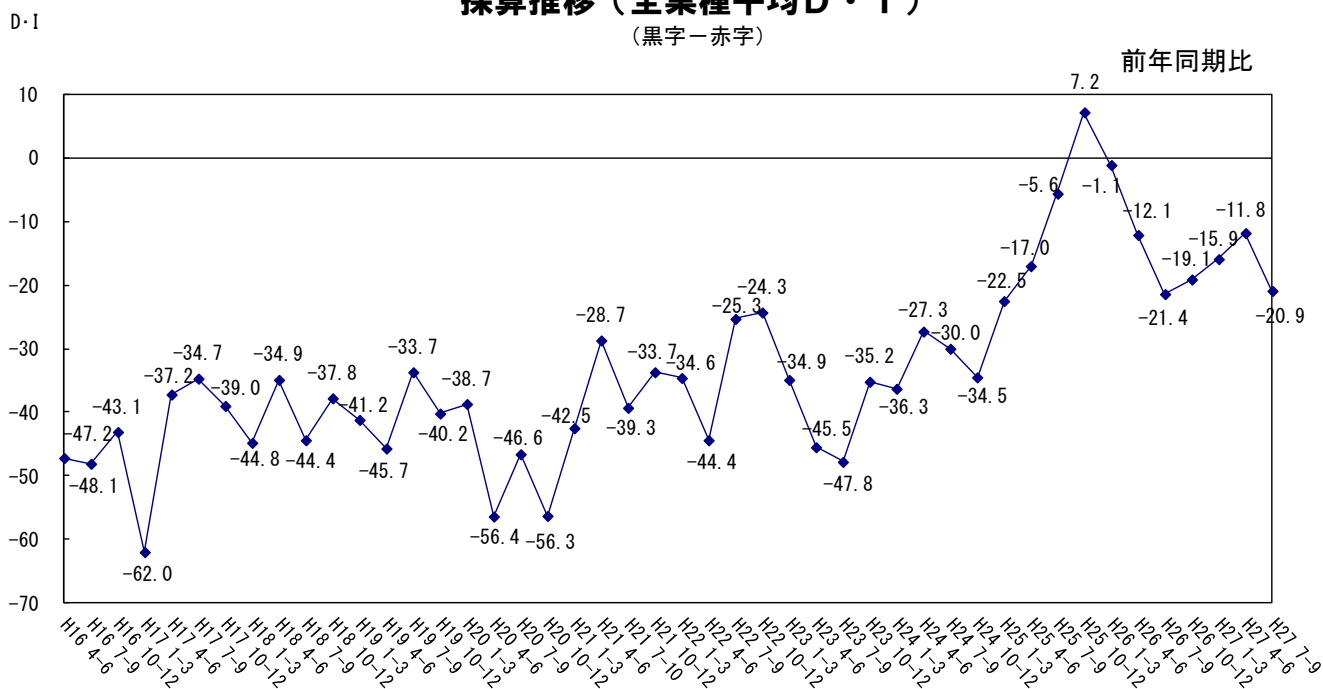
全業種平均でDI値▲22.0〔前年調査時（平成26年7～9月期▲19.0）より3ポイント悪化〕

【部会別DI値】 商業・食品業〔前年▲23.8→5.3〕、水産業〔前年▲50.0→▲38.9〕
 機械工業〔前年▲26.7→▲11.8〕、建設業〔前年17.6→▲38.9〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲7.7→▲26.3〕

(2) 今期の採算

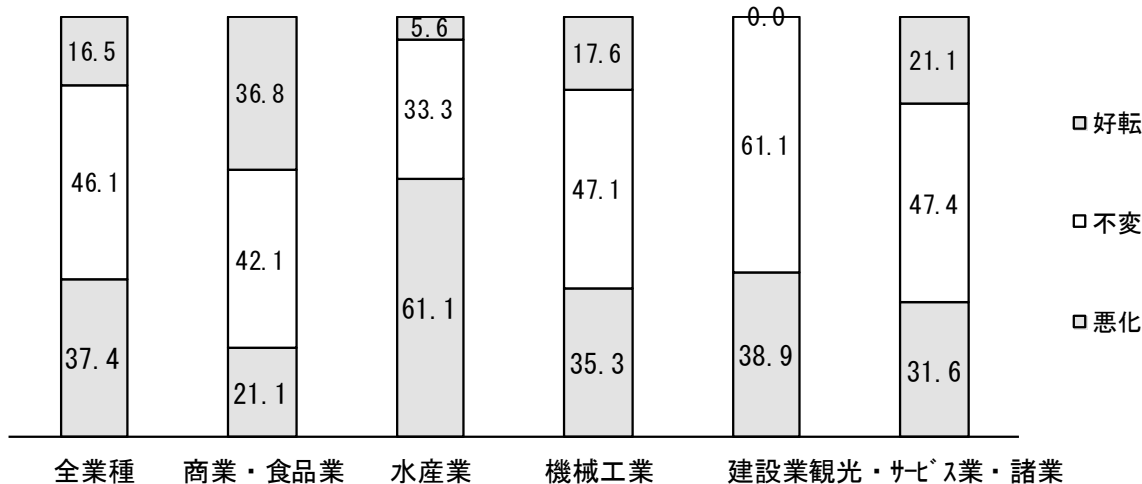
採算推移（全業種平均D・I）

（黒字－赤字）



【前年同期比】（平成 26 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の採算水準）

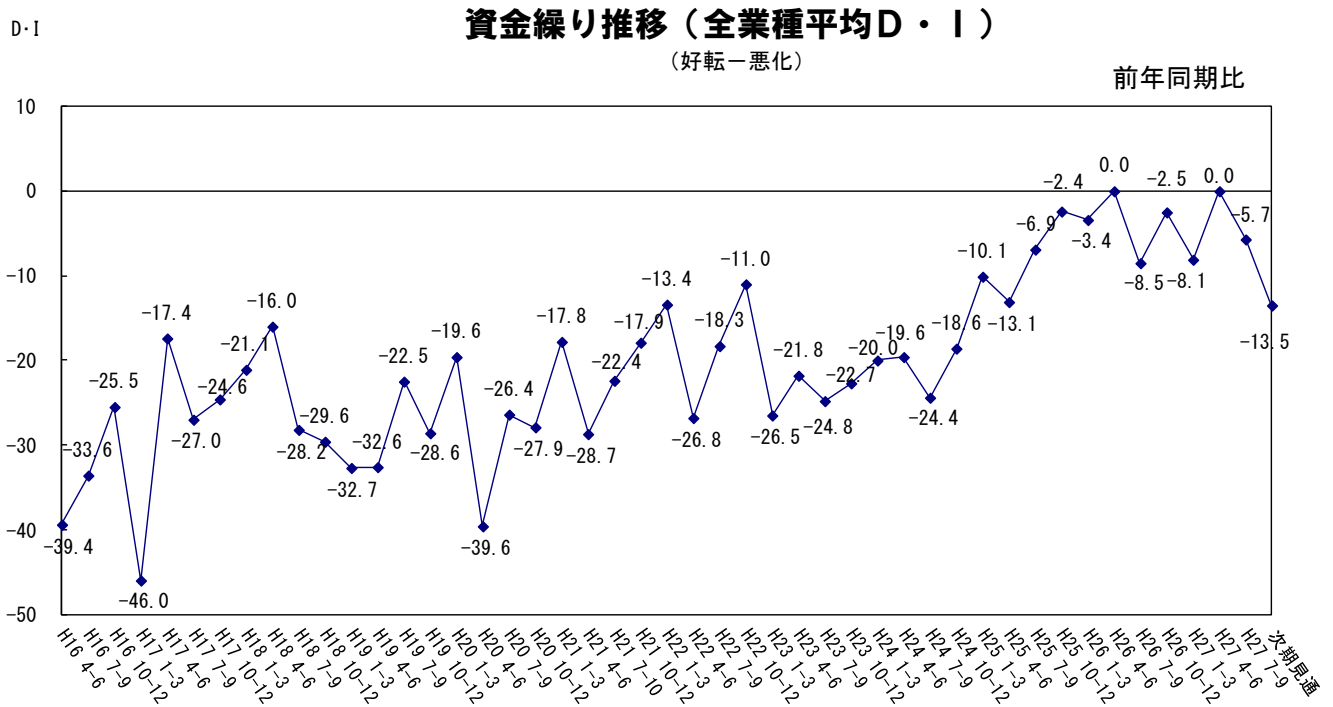
今期の採算（前年同期比）



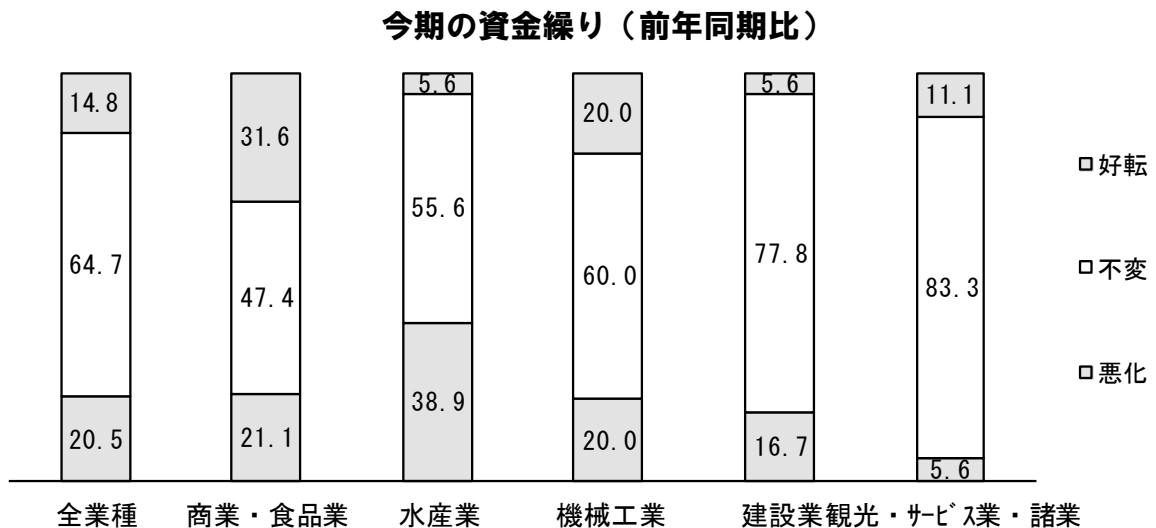
全業種平均でDI値▲20.9〔前年調査時（平成26年7～9月期▲21.4）より0.5ポイント改善〕

【部会別DI値】 商業・食品業〔前年▲33.3→▲15.8〕、水産業〔前年▲27.8→▲55.6〕
 機械工業〔前年▲20.0→▲17.6〕、建設業〔前年▲5.9→▲38.9〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲15.4→▲10.5〕

(3) 今期の資金繰り



【前年同期比】（平成 26 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の資金繰り）



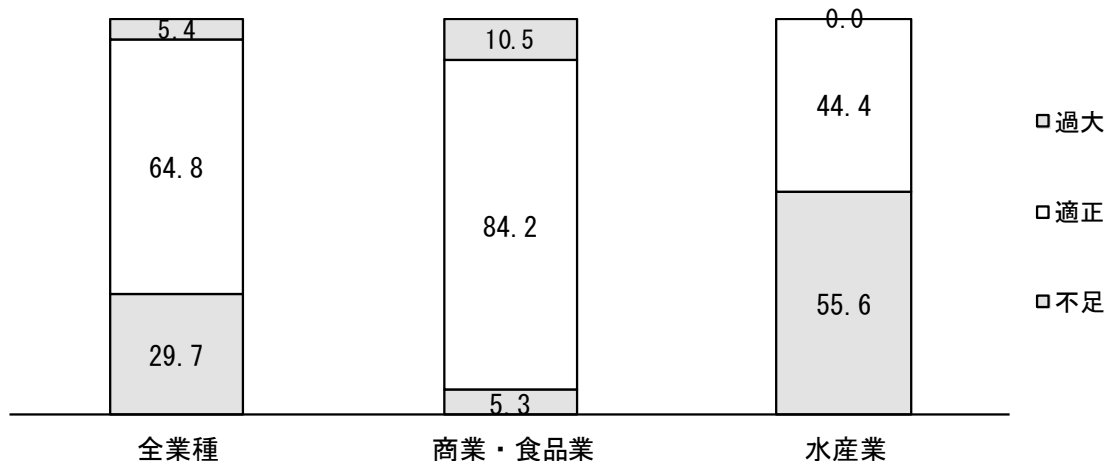
全業種平均でDI値▲5.7〔前回調査時（平成 26 年 7～9 月期▲8.5）より 2.8 ポイント改善〕

〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前年▲5.0→10.5〕、水産業〔前年▲27.8→▲33.3〕
 機械工業〔前年▲6.7→0.0〕、建設業〔前年 11.8→▲11.1〕
 観光・サービス業・諸業〔前年▲15.4→5.6〕

(4) 今期の在庫水準

【前年同期比】（平成 26 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の在庫水準）

今期の在庫水準（前年同期比）



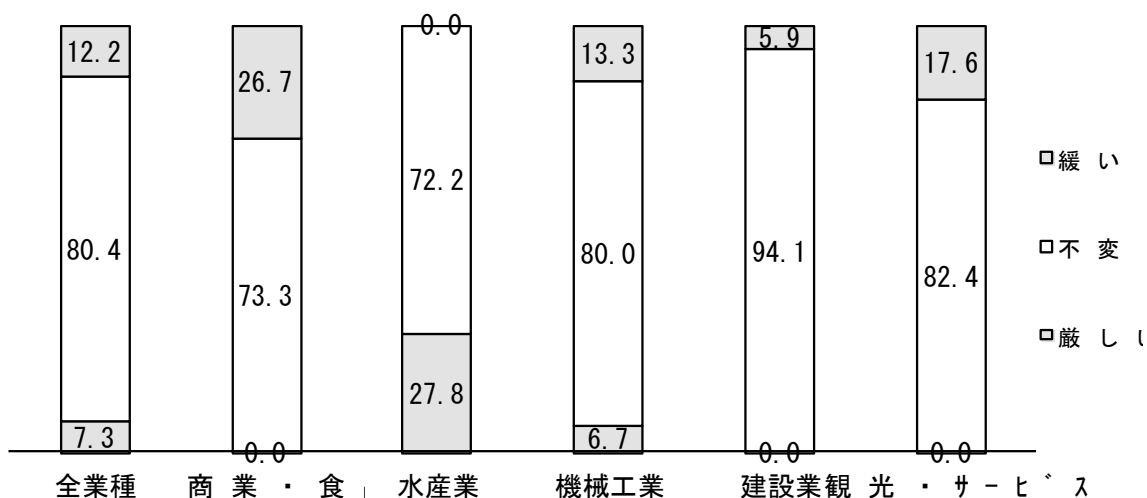
全業種平均で DI 値▲24.3〔前回調査時（平成 27 年 4～6 月期▲18.0）より 6.3 ポイント在庫不足〕

〔部会別 DI 値〕 商業・食品業〔前年 14.3→5.3〕、水産業〔前年▲38.9→▲55.6〕

(5) 今期の金融機関の貸出姿勢

【前年同期比】（平成 26 年 7 月～9 月期の水準と比較した今期の金融機関の貸出対応）

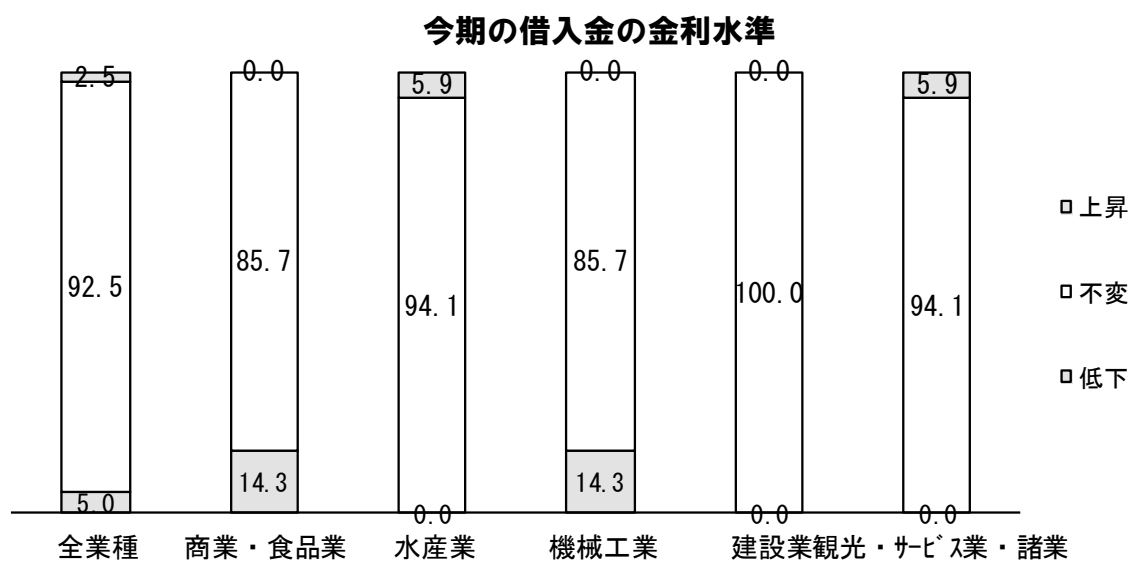
今期の金融機関の貸



全業種平均で 4.9 ポイント。商業食品業 26.7、水産業▲27.8、機械工業 6.7、建設業 5.9、観光サービス業諸業 17.6

(6) 今期の借入金の金利水準

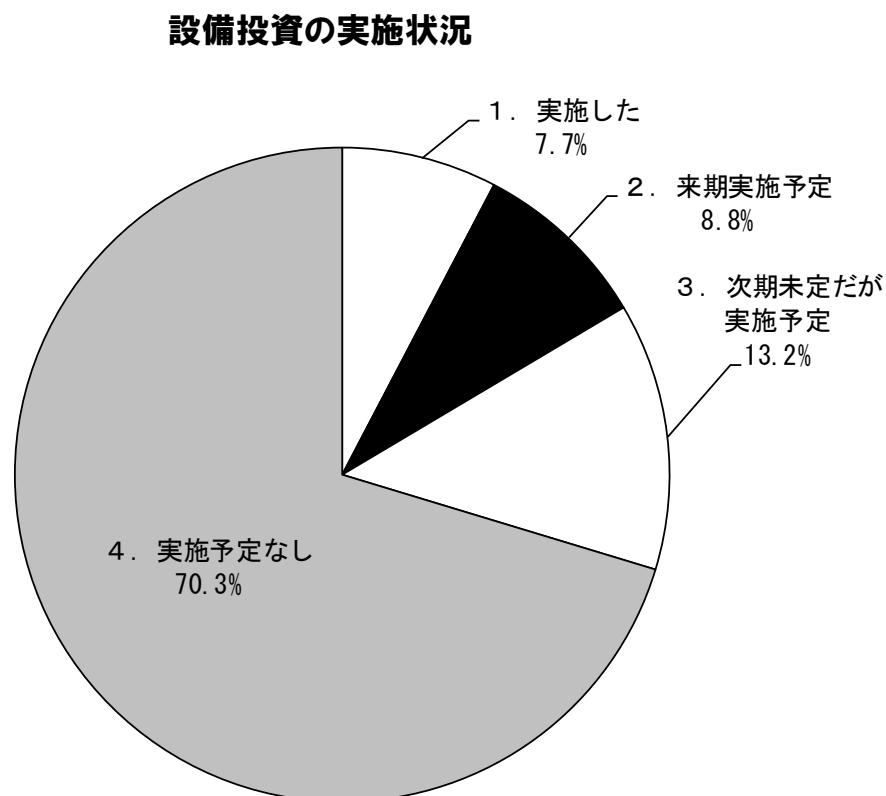
【前年同期比】（平成26年7月～9月期の水準と比較した今期の借入金の金利水準）



全業種平均で▲2.4。商業食品業▲14.3、水産業 5.6、機械工業▲14.3、建設業 0.0、観光サービス諸業 5.9

(7) 設備投資の実施状況

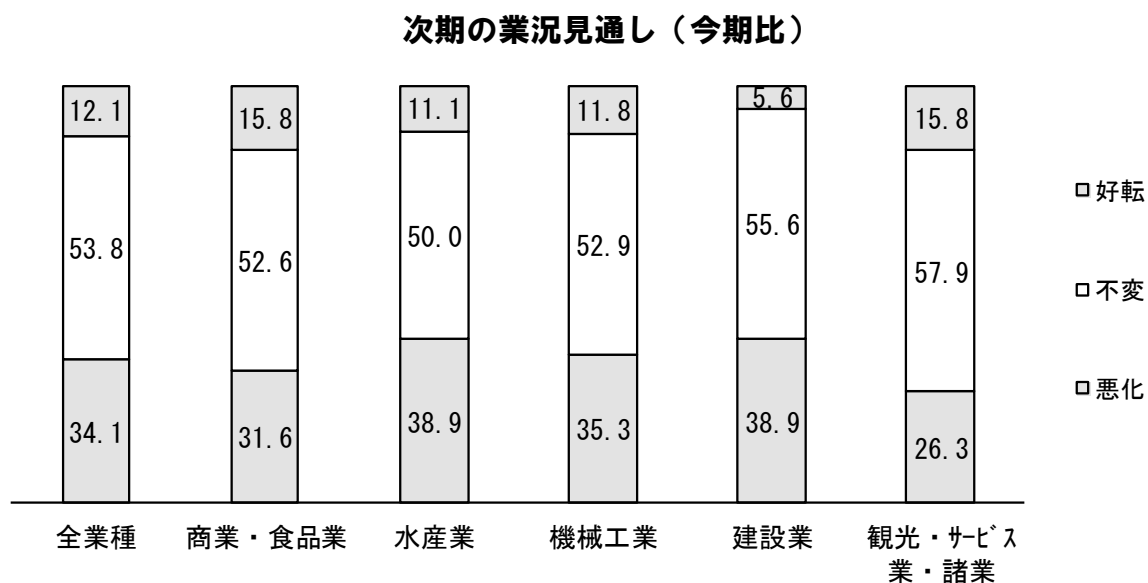
今期の店舗・社屋・工場等への設備投資実施状況について



3. 来期の見通し

(1) 来期の業況見通し

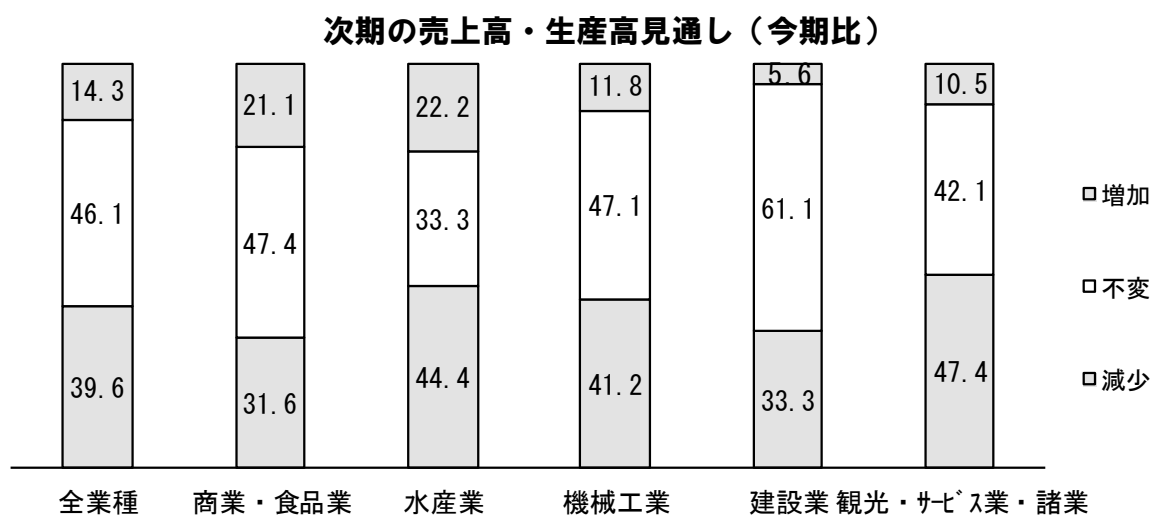
【今期比】（平成 27 年 7 月～9 月期の水準と比較した来期の業況見通し）



全業種平均 DI 値▲22.0 [今期の業況▲16.5 より 5.5 ポイント悪化の見通し]

(2) 来期の売上高・生産高見通し

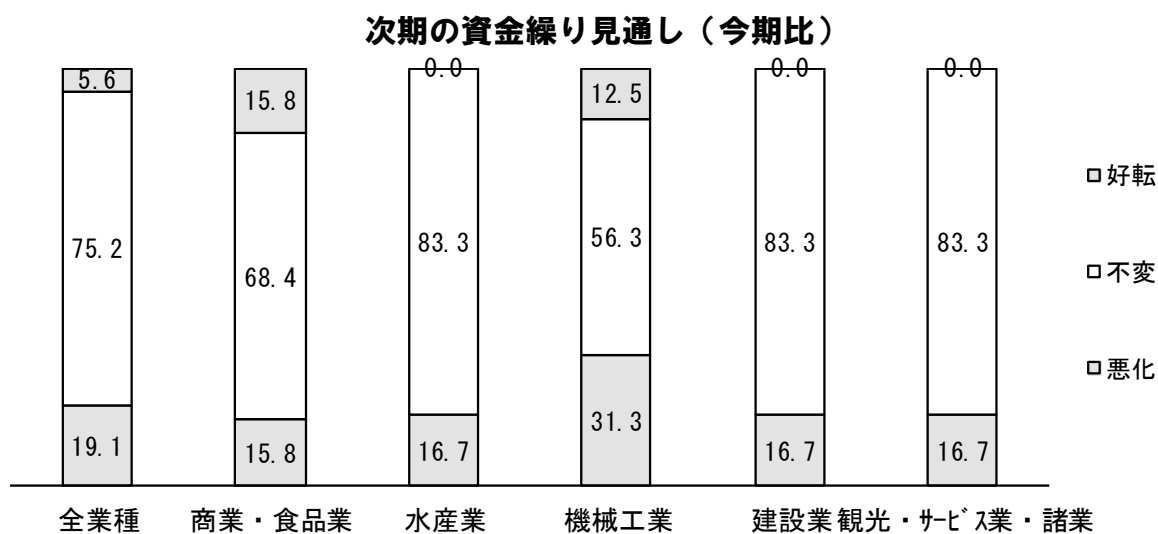
【今期比】（平成 27 年 7 月～9 月期の水準と比較した来期の売上高・生産高見通し）



全業種平均 DI 値▲25.3 [今期の売上高・生産高▲22.0 より 3.3 ポイント悪化の見通し]

(3) 来期の資金繰り見通し

【今期比】（平成 27 年 7 月～9 月期の水準と比較した来期の資金繰り見通し）



全業種平均 DI 値 ▲13.5 [今期の資金繰り▲5.7より7.8ポイント悪化の見通し]

Ⅲ. 各 指 標

		全 体	商 業 食 品 業	水 産 業	機 械 工 業	建 設 業	観 光 サ ー ビ ス 業 ・ 諸 業
業況判断 D・I	今期実績	▲16.5	10.5	▲50.0	▲11.8	▲22.2	▲10.5
	来期見通し	▲22.0	▲15.8	▲27.8	▲23.5	▲33.3	▲10.5
売上 D・I	今期実績	▲22.0	5.3	▲38.9	▲11.8	▲38.9	▲26.3
	来期見通し	▲25.3	▲10.5	▲22.2	▲29.4	▲27.8	▲36.8
在庫 D・I	今期実績	▲24.3	5.3	▲55.6	—	—	—
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
採算 D・I	今期実績	▲20.9	15.8	▲55.6	▲17.6	▲38.9	▲10.5
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
資金繰り D・I	今期実績	▲5.7	10.5	▲33.3	0.0	▲11.1	5.6
	来期見通し	▲13.5	0.0	▲16.7	▲18.8	▲16.7	▲16.7
金融機関 貸出姿勢 D・I	今期実績	4.9	26.7	▲27.8	6.7	5.9	17.6
	来期見通し	—	—	—	—	—	—
借入金 金利水準 D・I	今期実績	▲2.4	▲14.3	5.6	▲14.3	0.0	5.9
	来期見通し	—	—	—	—	—	—

※借入金金利水準 D・I 値のプラス値については、借入金利が上昇したと感じた回答が多い時にプラス値で表示されます。

IV. マイナンバー導入に伴う調査

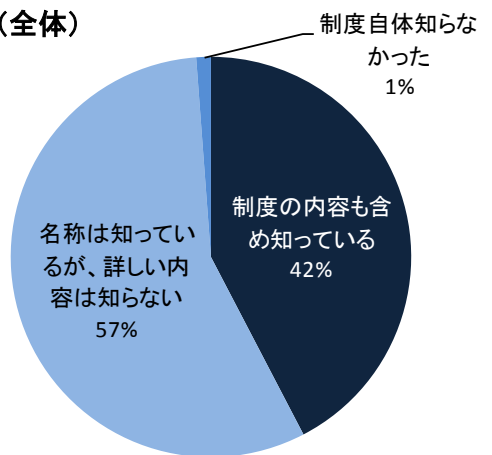
平成27年10月より順次マイナンバーの通知カードが各自治体から送付されます。それに伴い、制度について各報道で取りざたされる他、各機関では早期からマイナンバーに関する説明会やセキュリティ対策等様々な周知に係る取り組みがされていることから、制度の本調査を実施。

当所も8月26日午後2時より、紋別税務署、紋別市、近隣の町村、各青色申告会との共催で札幌国税局の方を講師に招き、セミナーを開催したところ、100名を超える方々にご参加頂き、制度に対する関心の高さを改めて実感いたしました。セミナーの中では札幌国税局から制度に関する内容や罰則、本人確認や情報の保存等に関する留意点等について説明を頂き、紋別市からは実際に送付される通知カード、その後に希望者の未発行ができる個人カード等についての説明が行われました。

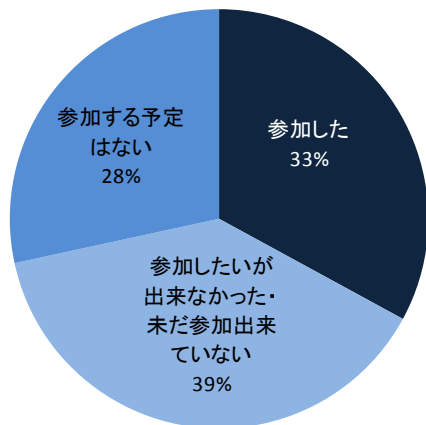
調査の結果、制度自体の認知度については、「名称は知っているが、詳しい内容は知らない」との回答が57%と半数を超えている他、「制度自体知らなかった」との回答も僅かながらあったことから、本格的な運用を前に更なる周知等の必要性について再認識する結果となりました。

業種別にみると、全体的に名称の知名度はあるものの、内容についての理解が得られていない現状となっているが、他の業種に比べ、「機械・工業」は「制度の内容も含め知っている」との回答が高い結果となりました。

認知度(全体)



説明会等への参加状況(全体)

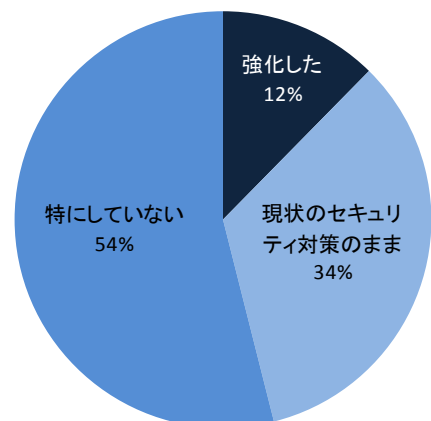


説明会等への参加状況については、「参加した」と回答されたのは34%、「参加したいが出来なかった・まだ参加できていない」と参加の意欲のある方が約4割と多くなっていることから、今後もセミナー等の実施の必要性がある事が再認識されました。

業種別にみると、説明会等への参加状況が一番多かったのが建設業で、「参加したいが出来なかった・参加できていない」という回答が最も多かったのが商業・食品業、次いで水産業という結果になりました。各業種共に多くの従業員を抱えることから、関心度は高いものの、個人経営の小売店や水産業については、仕事が抜けられず、参加できなかったという方もいらっしゃいました。

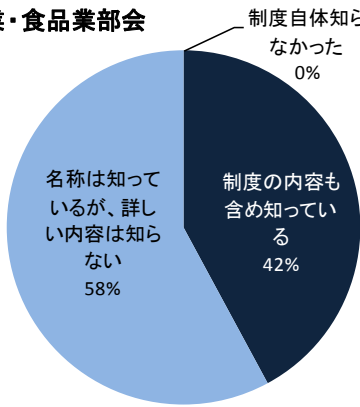
マイナンバーは、情報が漏洩した場合の罰則が重くなっていることから、取り扱いに関するセキュリティ対策が重要視されています。実際に保管する場所の他、パソコン等からの外部の侵入を防ぐ対策等がありますが、マイナンバーの運用開始に伴い、新たにセキュリティを「強化した」との回答は全体の13%に留まり、現状のセキュリティ対策のままとの回答が32%と何かしらの対策はされている様子が窺えました。「特にしていない」との回答が55%と半数を超えていることから、当所としても、セキュリティ対策について周知等検討をしていく必要性を感じました。

セキュリティ対策(全体)

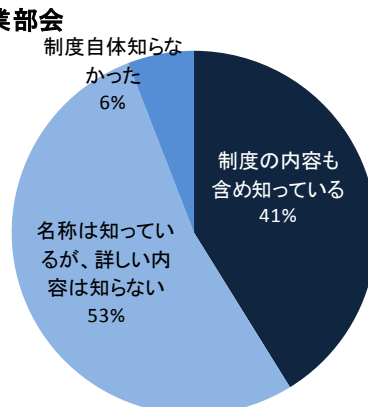


【認知度】

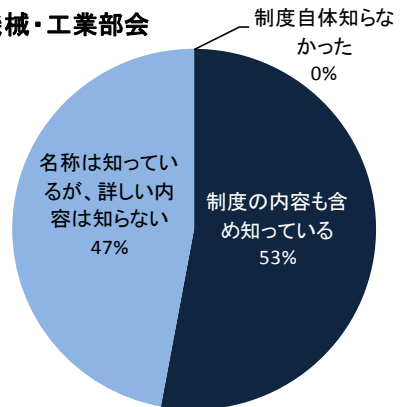
商業・食品業部会



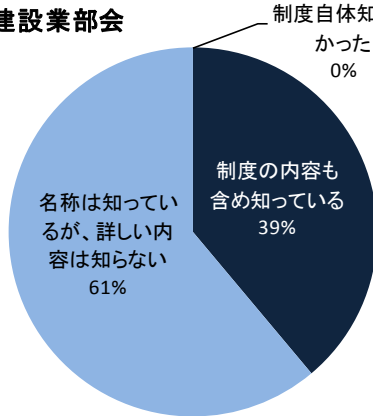
水産業部会



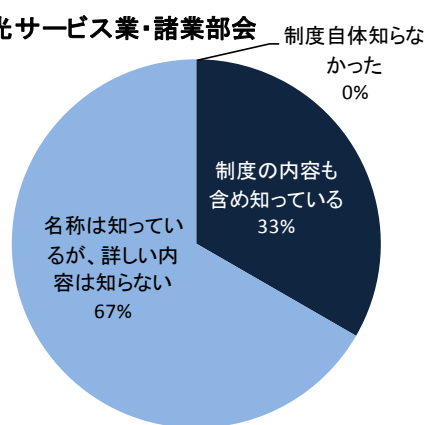
機械・工業部会



建設業部会

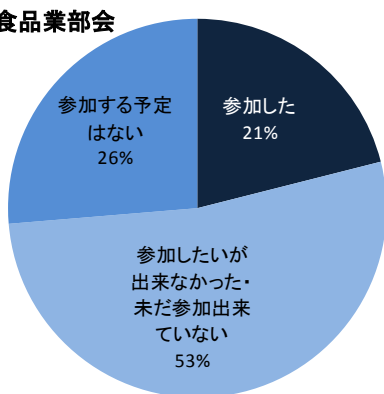


観光サービス業・諸業部会

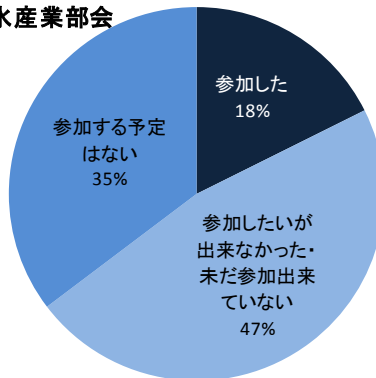


【セミナー等への参加状況】

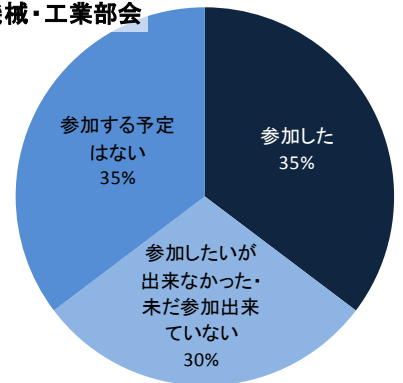
商業・食品業部会



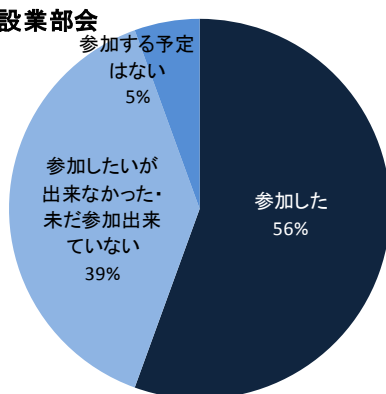
水産業部会



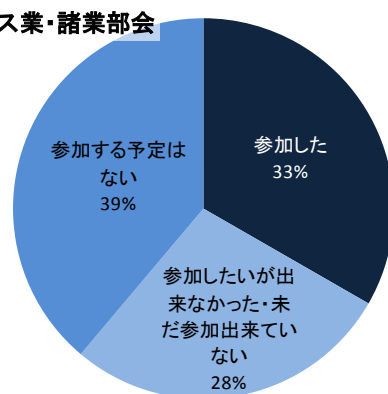
機械・工業部会



建設業部会

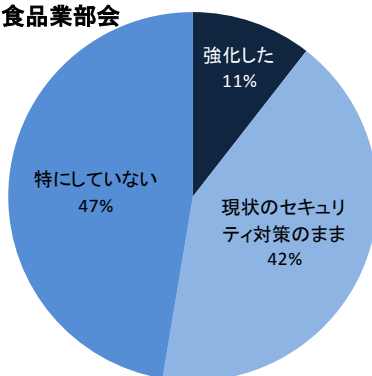


観光サービス業・諸業部会

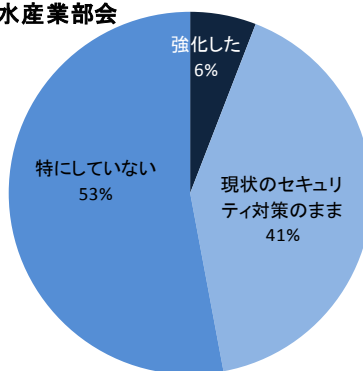


【セキュリティ対策】

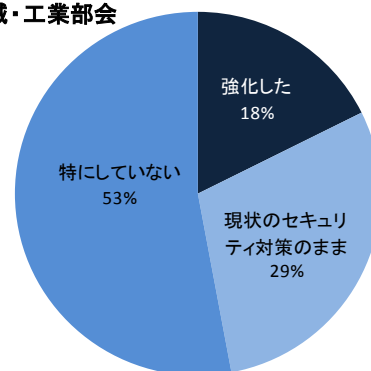
商業・食品業部会



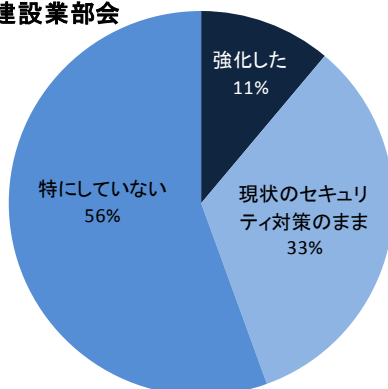
水産業部会



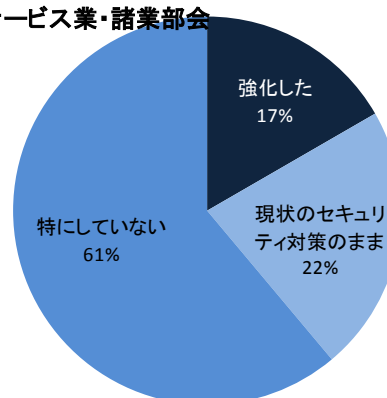
機械・工業部会



建設業部会



観光サービス業・諸業部会



【マイナンバー制度に関する不安な点等】

- ・セキュリティ対策（医薬品小売業）
- ・管理が面倒（食料品小売業）
- ・個人情報の管理（1枚のカード）で楽と不安（食料品小売業）
- ・従業員がナンバーを教えてくれるか不安である。（水産？加工業）
- ・情報漏洩やセキュリティ対策が心配（水産加工業）
- ・する必要があるのか？何の意味もない気がする。（鉄工業）
- ・家族や従業員は制度をあまり理解してない。勉強会も実施したが、国や自治体などからの繰り返し周知活動が必要だと思います。（印刷業）
- ・運用が順に良く運ぶだろうか？（鉄工業）
- ・お年寄りには無理だと思うし、危ないことがたくさんおこりそう。（配管業）
- ・役所の管理は、信用できない。（土木建設業）
- ・情報の流出、民間への罰則強化（電気工事業）
- ・従業員等のセキュリティ（設備工事業）
- ・マイナンバーで全て管理されるので、人間のする事なので間違い、悪用、漏洩が心配です。もうすでに色々出てきているので…（電気工事業）
- ・何が問題になるのか、把握していない。（飲食業）
- ・セキュリティ対策（飲食業）
- ・漏洩による悪用（クリーニング業）
- ・書類作成が大変。時間がない。（介護福祉業）
- ・セキュリティ対策（賃貸業）